

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>

「知識・技能」「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

<評価の方法>

①「知識・技能」

「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などを多面的に評価します。

②「思考・判断・表現」

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

③「主体的に学習に取り組む態度」

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

時間	学習内容	学習のねらい
17.5 時 間	<p>家族・家庭と子どもの成長</p> <p>○中学生になるまで</p> <ul style="list-style-type: none"> わたしの成長と家族や周囲の人々 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、よりよい生活を送ろうという意識を高める。
	<p>○幼児の生活と遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期とはどんな時代か 幼児の体の発達 幼児の心の発達 子どもの成長と家族の役割 幼児の遊びと発達 幼児の遊びを支える 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長について学び、自分の成長を振り返ることで、今の自分を見つめ直す。 これから自分がどのように成長していくのか見通す力を身につける。 幼児の心身の発達を理解することができる。 幼児の生活に関心を持ち、幼児の生活に役立つ環境作りを工夫して考えることができる。
	<p>○幼児とのふれ合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児のおもちゃづくり 幼児のおやつづくり 幼児とのふれ合い <p>○これからのわたしと家族</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生と家族とのかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の遊び道具の製作を通して、遊び道具の役割や遊びを支える環境について考えることができる。 幼児の観察を通して幼児と適切にかかわることができる。 家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えることができる。

【家庭学習のしかた】

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。